

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月6日

事

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			ゆっくり過ごしていただけるようにスペースを確保しています。活発に活動ができる児童と介助が必要な児童を適宜部屋割りをし
	2	職員の配置数は適切である	○			基準に適した人数を配置しており、児童指導員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			施設にはスロープ、入り口もバリアフリー化しております。玄関ドアは自動ロックを採用しています。トイレ等の表示をわかりやすく大きくしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎日の申し送りにおいて職員全体で検討し、実践、振り返り、評価を行っています。定期的に話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価表を活用して保護者等のご意向等を把握し、サービスの質と職員の質の向上を図っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価を行っていませんが、他事業所からのアドバイスなどは積極的に取り入れ、業務改善を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に職員研修を行っており。外部研修も積極的に参加しています。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			本人・保護者のニーズを聞き取り、また日々の様子を観察し、放課後等デイサービス計画検討会議を行い計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			法人内で統一したアセスメントツールを活用して1人1人の課題、年齢・性別、特性に合わせて個別課題や、集団活動への取り組みを行っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月間予定を管理者を中心に立案し、職員全体で確認や予定の詳細の決定を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			プログラムを曜日固定ではなく、毎日ランダムに組み合わせさせて同じプログラムが行われないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個々の個別分析を行い、放課後等デイサービス計画書に反映しています。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者や相談支援専門員の意見に加えて子どもたちの声や仕草をよく観察し見合った支援を計画書に反映しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、振り返りと申し送り、送迎時間の確認、プログラムの内容とプログラムの役割を確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援について皆で意見を交換し勤務者間で共有し統一した支援が出来る様にしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日の支援内容や気になる事項に関しては毎日記録をし、翌日の申し送り時に職員間の共有を行い、支援の検証や改善を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に一度職員間でカンファレンスを行い、評価・見直し等を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○		自立支援・創作活動・地域交流・余暇などの支援を集団・個別で行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には管理者等が参加し、情報・意見交換を行っております。終了後、会議内容を全職員に報告しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		利用開始前に学校に連絡し、送迎時間・場所・お迎え方法などの打合せを行っています。また、送迎時には学校での様子や体調をうかがっています。月間行事予定表も学校から頂戴しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医や協力医療機関等とは、医療連携に関する契約書を交わし、主治医の指示書の下で実施しています。実施後は実施状況報告書を主治医に提出して連携体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		管理者を中心に保育所等に訪問させていただき、情報交換等を行い情報共有をさせていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		管理者が情報提供を行っています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センター等には積極的に連絡をとり、助言を受けており研修も参加を心がけています。	

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童クラブ等への訪問は実施できていないですが、施設外活動では、地域の公園へ外出したりお散歩をする等をして地域との交流を図る機会を取り入れています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		時間があれば可能な限り参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に口頭や連絡帳にてお子さんの様子をお伝えしています。また、保護者から家庭での様子や気になっている点等を伺っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	現在のところ実施できておりませんが、今後は専門的なペアレント・トレーニング研修を受講予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学時に支援内容の説明をしています。また契約時には、重要事項・契約書の説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時に保護者から家庭での様子や気になっている点等を伺っています。また、必要に応じて面談や相談を随時行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在、定期的な会報等を作成しておりませんが、早い段階で作成してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に、相談・苦情窓口、担当者を設置していることをお伝えしています。また、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	現在、定期的な会報等を作成しておりませんが、早い段階で作成してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の書類に関しては、鍵付きの保管庫で管理しております。また、職員に対する個人情報の取扱いについては雇用契約締結時等で指導しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		研修等で知識を深め、個々に合ったコミュニケーション方法を検討し、実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○	地域住民の方を対象としたイベントの実施はできませんでした。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時・防犯・感染症対策の各マニュアルを作成しています。保護者への周知に関しては今後行ってまいります。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防火管理者を配置しています。避難訓練実施マニュアルを作成し年2回の避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会社全体で虐待に関する研修を行っており、参加出来ない職員は報告書や資料等で情報共有しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、身体拘束は行っていません。今後、やむを得ず身体拘束を行う場合は組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時にアレルギーの有無を確認し、医師からの指示書がある場合は職員に情報を共有し、おやつ等は保護者に直接確認し、個別に保管しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例の報告を行い、防止策の検討を行っております。参加していない職員は報告書で情報共有してい

研修後に、家族支援プログラムを実施します。

定期的な保護者会等を開催することにより保護者同士の連携を支援していきます。

会報等の発行を通じて、さまざまな情報を発信していきます。

今後は地域住民も招待できる事業運営を考えていきます。
